

平成18年度図書館情報メディア研究科プロジェクト研究 研究成果報告書

種 目	研究	重点配分	研究代表者 氏 名	黒古一夫
研究課題	ベトナムにおける図書館支援を通じた読書環境改善モデルの開発・検証			
研究組織（研究代表者及び研究分担者）				
氏 名	所属研究機関・部 局・職	現在の専門	役割分担	
黒古一夫	図書館情報メディア 研究科・教授	書誌学	代表者	
山本順一	同・教授	図書館情報学	共同研究者・図書館員研修プログラム開発責任者	
平久江祐司	同・准教授	図書館情報学	共同研究者・事務局	
宇陀則彦	同・准教授	図書館情報学	共同研究者・Web サイト開発・運営責任者	
大庭一郎	同・講師	図書館情報学	共同研究者・図書館員研修用コンテンツ開発責任者	
研究目的				
<p>本研究の全体構想は、ベトナムの児童・青少年の読書活動を効果的に支援するための図書館職員研修用プログラムと研修用コンテンツの開発・実施・検証を行うことにある。本研究プロジェクトが研究対象地域をベトナムに設定したのは、本研究科とベトナム国立図書館との「学術交流協定」の締結（2003）、ベトナム国立図書館国際部長の招聘（2004）、ベトナム国立図書館への「日本語図書」800点の寄贈（2005）などの長年にわたる協力・信頼関係の構築によるところが大きい。その直接的な契機は、ベトナム国立図書館館長 Pham The Khang 氏の本研究科の図書館支援に対する大きな期待にあった。そのため、本重点研究プロジェクトでは、まずベトナム図書館の現地調査をベトナム国立図書館の協力を得て実施し、ベトナムの公共図書館と学校図書館の現状と課題を明らかにすることを目的とした。</p>				
研究成果				
<ul style="list-style-type: none"> ・ベトナムの現地調査を2007年1月9日（火）～1月13日（土）に実施した。調査した図書館は、国立図書館1館、市、県、郡、村レベルの公共図書館7館、学校図書館6館であった。これらの図書館で、インタビュー調査と関連資料の収集を行った。その結果、これまで知られていないベトナムの図書館の実情を明らかにする一次資料を入手することができた。これらの調査結果から、ベトナムでは市立、省立図書館で改築、新築がかなり急速に進められ、2007年度中には、国立図書館と主要な公立図書館の分類法をソビエト連邦時代の分類法からデューイ十進分類法への変更が予定されており、大きな転換期を迎えている。そのため図書館職員の養成と研修が大きな課題となっているなどが明らかになった。なお、調査日程については別紙のようであった。 ・ベトナム国立図書館館長と本研究プロジェクト代表の間で、ベトナム図書館員の職員研修（FD）プログラムの開発のために今後とも連携・協力していくことが正式に確認された。これは本研究科とベトナム図書館の交流において重要な意味を持つといえよう。 				
代表的な研究発表・特許等の成果一覧、特記事項等				
<ul style="list-style-type: none"> ・筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 Web サイト ・調査結果のとりまとめが若干遅れているが、2007年9月をめどにとりまとめ、雑誌に投稿する予定である。 				